



(株)サイバーネット(高原一博社長)は、企業の名刺やはがきなどの印刷をネット上で簡単に作成し、デジタル印刷機ですばやく仕上げ、顧客企業に届けるという、

对企业向けサービスをいち早く事業化し、全国展開した新興企業です。

最近では、名刺、はがきに

限らず、企業

広告、チラシ印刷は

もとより、WEBデザ

インなどの事業も

手掛けています。

ホール業

界向けには、最近、「ホール

活性委員会」という名のポータ

ルサイトを開設、ホールに特化した

DM、チラシ、ポストイン

クなどのサービス展開で話題を呼んでいます。広報紙読者の中にもすでにサイバーネットを利用して

(上) 熊野町での植林活動 (下) 里山体験ツアー



でしょうか。

そんなサイバーネットが、近頃、熱心に取り組んでいる社会貢献事業があります。それは植林活動です。

2010年12月、和歌山県田辺市熊野本宮町の山林(2万坪)を実際に購入。サクラ・もみじ・コナラ・クヌギ・イチイガシ・ケヤキといった苗木1万2千本を植樹しました。

有志の社員も参加した植樹当日は、前日雨が降って土がぬかるんでいた。山の途中まで車で移動。そこから実際に険しい山肌をよじ登りました。下から見ると急斜面で、実際に人が住んでいた住宅跡やお茶畑があつたり、けものみちにしか見えないような旧県道があつたりと、日頃、山里の生活とはとは無縁の社員たちにとって、大変な苦勞だったようです。

ただ、若い社員の皆さんは、意外に意気軒昂。「とても良い体験をしてまいりました。植樹をして終わり

ではありませ

の熊野本宮町

森林組合の

方々などの協

力をいただき

ながら、成長

を見守りつつ、

今後の活動に

繋げて行こうと思

います」と、担当

のISO推進委員

。(サイバーネッ

トは、06年8月より、企業活動・製品及びサービスの環境負荷低減への取り組みが適切に行われている事により、「ISO14001」の認証を受けています)

常に「環境」への意識改革

ところで、ネット企業のサイバーネットが何で植林活動なのか。そのわけは、サイバーネットの原点である印刷事業は、もともと紙の消費と表裏一体の関係にあります。紙を消費することによる環境負荷を最小限にすること、サイバーネットの社会貢献活動はここから始まりました。

具体的には、会社で使う事務用品から無駄な電気、照明の削減から、ゴミの分別、リサイクル促進、廃紙を減らすための工程、業務の改善・効

率化を目指す、オフィスの「ムダゼロミスゼロ」運動からはじめました。

そこから、さらに進んで地球温暖化を防止するための環境問題への取り組みは、いわば会社の業務とも密接に絡んだ重要な経営課題でもあるというわけです。「名刺一箱につき、1円を植林活動に!!」と、継続した植林活動を宣言しています。

こうした理念の下に、全社一丸となって環境問題に取り組めるよう、社員の意識改革には、特に力を入れているようです。熊野の山林における植林のほかにも、東京都の主催した「里山体験ツアー」および講演会「などへの参加などで、自然とふれあい、環境保全の重要性を肌で感じて学ぶ活動を地道に行なっています。一つひとつの活動は小さいながらも、常に環境問題を意識しつつ業務を行なっていく——サイバーネットの取り組みが、注目されます。



ISO認証書